

Bibliophiles

ビブリオファイルズ No.6(2025 年度)

新着図書案内・お知らせ 西宮東高校図書館

(ここで紹介するのは新しい本の一部です。)

え?「本の虫」って
いう意味ですけど。



『消滅世界』 村田沙耶香

舞台は、人工授精で子どもを産むことが当たり前になった近未来。モラルは変わり、夫婦間でさえ性行為はタブーとなっていてしまっていますが、主人公・雨音は小学 4 年生の時、性教育の授業で違和感を抱きます。母親から聞いていた内容と違っていたからです。そのことを教師に話すと、彼女は気まずそうな顔をして・・・

作家仲間から「クレイジー沙耶香」と呼ばれている、個性的な作風で知られる芥川賞作家。11 月 28 日に蒔田彩珠主演の映画公開を控える原作は、そんな彼女らしい、凝ったディストピア小説です。

『ガンニバル』 二宮正明

実写版で TV ドラマ化された、話題のサイコ・スリラー漫画です。題名のガンニバルには「人間の肉を食べる」という意味の「カニバリズム」が含まれています。グロ系が苦手な方は以下を飛ばして下さい。

駐在警官の阿川大悟は、山間の村「供花村(くげむら)」に家族とともに引っ越してきた。ある日、山中にて村の有力者・後藤家の当主の遺体が発見される。後藤家の人たちは「熊に喰われた」と言うのだが、大悟は人の歯形らしきものを見て・・・

『変化球を科学する 「曲がるボール」のメカニズム』

川村卓、井脇 毅

日本で最も人気のあるスポーツと言え、文句なしに野球ですね。でも、みなさんはテレビで見ている「今投げた変化球はカットボールだな。」とか、「チェンジアップだな」とか分かっていますか?最近の変化球の進化はものすごく、「カーブ」「スライダー」など主なものだけでも十数種類あります。この本は科学的な観点からそれぞれの変化球のしくみを解説し、最新研究による変化球の習得方法なども教えてくれます。野球に興味のある方は、ぜひ。

『ロックは淑女(レディ)の嗜みとして』 福田宏

つい最近まで「庶民」だった鈴ノ宮りりさは、母親が不動産王と結婚したことにより、晴れてセレブの仲間入り。男子禁制のお嬢様学校に進学することになったが、まわりの女子が良家の子女ばかりなので、りりさは好きなロックやギターの話は学校でできなくなり、クラシック音楽が好きな「お嬢様」のふりをしていた。そんなある日、学園の一室から聞えるはずのないドラムを叩く音が聞えてきて・・・

『インドのことがマンガで 3 時間でわかる本』 関口真理 ほか

中国を抜いて 14 億以上という世界最大の人口大国となったインド。経済も急速に発展していて、日本人がこれからインド人相手や、インドで働く機会は増えていくと思われます。しかし、カースト制度など古くからのしきたりが多く残った社会習慣、まだ普及途上の水洗トイレなどの衛生環境・・・など多くの課題があります。そんなインドを徹底解剖。

『月とアマリリス』 町田そのこ

九州の人気のない山で、一部が白骨化した遺体が発見された。遺体に外傷はなく、花束と一緒に埋められていたので、警察は「遺体を埋葬するお金のない者が埋めたのではないか」と考えているらしい。地元のタウン誌でライターとして働く飯塚みちるは、この事件について取材依頼を受けたが、彼女は断る。みちるには、ある事件の記事を書いたことが原因で、週刊誌の記者を辞めた過去があった。

『52 ヘルツのクジラたち』の作者によるミステリー。でも彼女らしい人情味もあふれる一作です。

東高校図書館
公式キャラクター
「東子ちゃん」



『まっぷる 刀剣乱舞 トラベラーズガイド』

大人気ゲーム「刀剣乱舞 ONLINE」にちなんだ旅行ガイドブックです。このゲームでは実在する名刀を人間の姿のキャラクターとして登場させますが、そうした名刀をめぐる旅のお供にぴったりです。ちなみに近くでは、尼崎の本興寺にある「数珠丸恒次(じゅずまるつねつぐ)」が紹介されています。

『AI エージェント革命 「知能」を雇う時代へ』 シグマクシス

ChayGPT などのいわゆる生成 AI の登場は世界に大きな衝撃を与え、私たちの生活や仕事を確実に変えつつあります。でも、これくらいで驚いてはいけません。今までの生成 AI は人間が「指示」を与え、与えられた業務を AI はこなしてきました。これに対して「AI エージェント」とは自ら計画を立案し、自分で情報を収集・分析し、自律的に目標に近づく AI なのです。ご一読を。

『物価を考える デフレの謎、インフレの謎』 渡辺努

毎日のように値上げや物価高の話を聞くようになりました。日本は今「インフレ」の時期を迎えていますが、これは日本だけではなく世界中で起きていることです。なぜ世界インフレは起きたのか?この「謎」以上に謎なのは、日本では何十年も物価が上がらない「慢性デフレ」の時代がつい最近まで続いていたことです。この本は、そうした物価の謎を解きほぐしてくれます。

今号のひとこと

La legge del lusso non è aggiungere, ma togliere.※ ぜいたくの法則とは、付け加えることではなく、取り除くことである。

ジョルジオ・アルマーニ(1934-2025)

アルマーニは先月の 9 月に亡くなった「ファッション界のレジェンド」でしたが、独立前に百貨店に勤めていた時に、お客から「もっと着心地の良いスーツはないものか」と言われ、従来のスーツのあり方に疑問を抱きました。それまでのスーツは裏側にパッドや芯などを入れて、シルエットが格好良く見えるようにしていましたが、独立後のアルマーニはそれらを取り除いて、まるで一枚の布で仕立てたような構造にしました。その結果、軽くて着心地の良いアルマーニのスーツが誕生したのです。

※テレビ番組、2010 年 4 月 27 日のインタビューより。